

# かほろ おおいた 版

# 大分MSW広報誌

Vol. 39

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成24年12月3日発行

## リレーフォーライフ ～がん患者へ元気と勇気を届けよう！～

### ■大分県医療ソーシャルワーカー協会 ネットワーク理事 脇坂 健史

今年で5回目となるリレーフォーライフ大分。第2回大会から参加している当協会は、今年も理学療法士協会とタッグを組み、「チーム士（サムライ）」として参加しました。

開催日が9月15日・16日だったため、暑さを心配して臨みましたが、当日に台風の影響を受けたため、過去の大会でも経験したことのない程の大雨・暴風の大会となってしまいました…。しかし、そんな悪天候にも関わらず当協会からは昨年のほぼ倍の人数となる48名の会員が参加をし、昼夜問わず、熱い想いを胸に、会場である大分スポーツ公園大芝生広場のコースを力強く踏みしめていました。

24時間、チームで協力して、フラッグとタスキを繋ぐという、がん撲滅に向けたこのイベントですが、今年ほど過酷な環境の大会は初めてで、大粒の雨に打たれながらも、気持ちをひとつにして歩き続けるチームの姿を見ると、心打たれるものがありました。自分達のためでなく、自分達を必要としてくれる誰かのために全力を尽くすことは、決して簡単なことではありません。しかし、この2日間、リレーフォーライフの会場にいた参加者全員が、簡単でないことを、それも無償の気持ちで最後までやり遂げました。もしかしたらそれは、私達の日々の医療ソーシャルワーカー業務に相通じる部分なのかもしれません。心の「強さ」と「絆」を磨いた大切な2日間を、今度は自分達の業務に活かしていきたいと思ひますし、参加された方にも是非そうであって欲しいと願ひます。

最後になりますが、共に頑張った理学療法士協会の皆様、今大会の実行委員を務めてくれたネットワーク推進部のメンバー、そして悪天候の中でも最後まで歩いて下さった全ての皆様へ感謝の言葉を届けます。ありがとうございました。



## 平成25年度会長・推薦理事選挙のお知らせ

2年に一度の会長・推薦理事を選出する重要な投票になります。投票は、会員の声を反映させる大事な「権利」であると同時に、「義務」でもありますので、積極的な参加をよろしくお願ひします。選挙に関する文書を12月初めに送付予定としています。今回の選挙は、総て郵送によって行なわれます。文書を精読頂いて、期日内での投票のご協力をよろしくお願ひいたします。

(選挙管理委員長 秋月 久恵)

## 新入会者の紹介 (H24.9~H24.11)

🌿 鍋倉 亜弓 (別府リハビリテーションセンター 障がい者支援施設にじ)

🌿 中村 勝巳 (医療法人同仁会 山口病院)

<入会順>

## 研 修 会 報 告

### <リーダーシップ研修 10月28日>

#### ◆ 大分大学医学部附属病院 上條 仁美

今回、研修参加にあたり、私はリーダー養成を図るという研修開催の目的に対し、自身が「参加しているのか」と迷っていましたが、しかし、その迷いや不安も研修開始30分で払拭されました。コミュニケーションの原則やファシリテーションのスキル等を学ぶ今回の研修は、鳥居先生の講義を拝聴しては即実践の繰り返しでした。いつの間にか私は、心から「面白い」と感じ、受講するようになっていました。

私たちMSWはその専門的価値や倫理に基づき日々支援を展開させていますが、その支援に欠かせないのがコミュニケーションスキルだと思います。「繋ぐ」役割を担うMSWにとってコミュニケーションの対象は、患者・家族に限ったことではなく、自身の所属する組織内外問わず、広がっています。今回の研修を通じて、自身のコミュニケーションの傾向を知ることができたため、今後はその傾向を踏まえ、よりよい支援に活かしていきたいと思います。



### <スーパービジョン研修 11月11日>

#### ◆ 別府リハビリテーションセンター 神河 宏明

11月11日(日)、大分市コンパルホールにて九州ルーテル学院大学准教授西章男先生を講師にお招きし、SV研修が開催されました。

講義では、対人援助専門職の構造を樹木に例え、根を「価値・倫理」とし、土の上にある幹や枝葉を「知識・技術」とした時、私たち専門援助職にとってしっかりと根を張ることが最も大切であることを確認し、大地にしっかりと根を深く張っていくワーカーを支援するSVについての演習に入っていました。

演習では、効果的なSVは、①良いラポールの確立②適切でポジティブなフィードバックであるとのことから、SVの支持的機能を中心とし、事例をもとにしたクライアントの強みに目を向けるといったグループワーク、ポジティブフィードバックといったトレーニング等、ストレングスの効果的な活用を意識した内容でありました。

今回の研修を通じ、職場の中でおこなう自身のSVを振り返るとともに、ストレングスを意識し、言語化していくことの大切さを再認識することができました。



## 研 修 会 等 案 内

研 修 名	開 催 日 時	対 象
実習指導者実践報告会	平成25年1月20日(日)	①実習指導者養成研修受講者 ②第1~5期SV養成講座修了者
公開セミナー	平成25年3月17日(日)	全会員及び一般市民

申し込み方法等詳しくは、研修部発行の2012年研修案内またはホームページにてご確認ください。



◆ ネットワーク理事 吉賀 治美

去る11/3、中津市内で県北地域情報交換会を開催しました。6月の県南佐伯に続いて今年度2回目の開催です。宇佐、豊後高田、中津の県北地域を中心に、隣接の福岡県側にも声をかけ、元気なソーシャルワーカーが総勢



19名集まりました。実は地元中津の参加者より宇佐・高田地域からの参加人数が多く、なおかつ湯布院厚生年金病院や日田済生会病院などちょっと離れた地域からの参加もあったため、大半が初対面だったのですが、そこは相談援助職の集まり、瞬く間に話に花が咲いて盛り上がっていました。

隣接地域でもいつもは電話でのやり取りだけ、ということも少なくありません。たまにはこんな席を設けるのも、お互いのいろいろな面を見られていいのかもしれないね。

九州ソーシャルワーク研修会 in 福岡 11/17～18

◆ 大分県立病院 峯 真奈美

「高位脊髄損傷患者への急性期における退院支援」～Finkの危機モデルを用いた分析について発表させて頂きました。今まで仕事と家庭を両立されていた方が突如、脊髄損傷による四肢麻痺の状態となる。この危機的状況下で、本人家族は現状を受け止め今後を考え決めていかななくてはなりません。Finkの心理分析でも現実を受け止められる承認期まで5ヶ月の時間を要している事が分かりました。MSWとして関わる上でいかに心理を踏まえた支援が大切である事、リハビリが本人家族の生きる希望やQOLにつながり得る事を患者との関わりを通じて学びました。発表では臨床心理士の坂本教授からも助言を頂き、大変貴重な機会となりました。今後も理論に基づいた援助ができるようスキルアップしていきたいです。

<他にもお二人の方が発表されました>

☆ 湯布院厚生年金病院 豊饒 愛

当院亜急性期病床におけるMSWの役割に関する一考察～患者の主体性を大切にして支援をおこなった事例を通して～

☆ 湯布院厚生年金病院 松尾 美穂

医療現場における実習指導の実践力と質の向上を目指して～大分県医療ソーシャルワーカー協会の取り組み～



全国医療ソーシャルワーカー協会会長会報告 in 大阪 11/24

大分県MSW協会 会長 野上美智子

来年の全国大会は大阪です。イメージキャラクターは「なにワノコ」でたこやきを持った太っちょの犬です。「つながる ひろがる ささえあう ～集まれ! 医療ソーシャルワーカーの未来のために～」がテーマとなっています。会員みなさんもホームページなどでご確認いただいて、研究発表や参加の準備をしましょう。

会長会の今回の議題①は、世界的にソーシャルワーク定義の見直しがかかっている、意見の公募をしていることです。日常業務に追われる私たちですが、今のIFSWの定義ではこの混沌とした時代に対応できないと世界中のソーシャルワーカーが悩んでいるという証拠です。ぜひ関心をもっていただきたいことです。議題②は、「災害福祉広域支援ネットワークの構築に関する検討会」報告です。簡単に言いますと、福祉版DMATを構築しようという案です。国の動向に注目しましょう。

議題③は、全国会長会で何ができるかという議論です。会長会の持つ会員数は約12,000名で、日本医療社会福祉協会4,700名を遥かに超えます。ケアマネジャーの国家資格化の話題も浮上している中、次の「介護福祉士および社会福祉士法」の改正に向けてMSWの存在をデータ化する必要があるという議論です。まず全国調査をする方向となりました。また、初めて会長たちでグループワークを行い、それぞれの協会の悩みなどを共有しました。全国会長会は、意志を持って進もうとしています。

最後に、野上はいろいろな専門職の研修に呼ばれて、コミュニケーションや連携について講義をしています。MSWの専門性と能力について自慢していますので、他職種からのみなさんへの期待のハードルは上がっています。学びましょうね。

○理事会報告事項

- 2012. 9. 9 大分県保健医療団体協議会「元気フェア」：豊の国健康ランド
- 9. 15/16 リレーフォーライフ大分：大分スポーツ公園
- 10. 10 第 6 回 理事会：天心堂へつぎ病院
- 10. 28 大分県医療ソーシャルワーカー協会リーダーシップ研修：全労災ソレイユ
- 11. 3 大分県医療ソーシャルワーカー協会 第 2 回地域情報交換会：中津市
- 11. 11 大分県医療ソーシャルワーカー協会スーパービジョン研修：コンパルホール
- 11. 27 第 7 回 理事会：別府リハビリテーションセンター



<主な議題>

- ・事務局報告 [9 月新規入会・脱会者なし 10 月新規入会 1 名・脱会者なし 11 月新規入会 1 名・脱会者なし]
- ・会費未納者への納入催促
- ・平成 24 年度実習生受け入れ状況調査の実施 (12 月に郵送物にて配布)
- ・大分県医療ソーシャルワーカー協会法人化検討
- ・第 49 回九州医療ソーシャルワーカー研修会福岡大会 口述発表者の選定
- ・平成 25 年度大分県医療ソーシャルワーカー協会会長・推薦理事選挙日程について
- ・各部会の活動報告 研修部、学術部、広報部、ネットワーク推進部



○理事役員動向

- 9. 5 東部保健所地域連携栄養講義講師：野上会長 (東部保健所)
- 9. 12 大分県看護協会コミュニケーションスキル講師：野上会長 (大分県看護研修会館)
- 9. 24 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会：割石運営部員 (井野辺病院)
- 9. 4 リレーフォーライフ大分決起集会 (PT 協会合同)：甲斐副会長、脇坂理事 (黒木記念病院)
- 10. 11 大分大学福祉社会科学講座実行委員会：甲斐副会長 (大分大学)
- 10. 16 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会：割石運営部員 (井野辺病院)
- 10. 19 第 2 回大分県保健医療団体協議会理事会：甲斐副会長、吉賀理事 (大分市内)
- 10. 21 湯布院厚生年金病院創立 50 周年記念式典：野上会長 (湯布院厚生年金病院)
- 10. 24 大分県看護協会 講話こころの健康ライフ：野上会長 (大分県看護研修会館)
- 10. 28 大分県地域リハビリテーション研究会：佐藤副会長、割石運営部員 (別府ビーコンプラザ)
- 10. 29 大分県医療計画第 5 次改定 在宅医療連携協議会：野上会長 (大分県医師会会館)
- 11. 1 大分県地域包括ケア研究会：野上会長 (大分県医師会館)
- 11. 6 大分県看護科学大学認定看護師講師：野上会長 (看護科学大学)
- 11. 11 第 30 回大分県病院学会：佐藤副会長 (別府ビーコンプラザ)
- 11. 17/18 九州医療ソーシャルワーカー協議会・研修部会：野上会長、井元理事 (福岡市 パピヨン 24)
- 11. 24 第 10 回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会議：野上会長 (大阪市 大阪社会福祉指導センター)



SW のうまいもん・みたもんのコーナー 第 6 回

三大祭り「川開き観光祭」「祇園祭」「天領祭」を筆頭に観光地としての魅力たっぷりの日田市ですが、あまり知られていない穴場スポットも多く存在します。城町にある慈眼山永興寺では春の桜、夏の青葉、秋の紅葉、冬の雪景色は味わい深いものがあります。風情ある豆田の町には旧くからある個人商店が今なお多く並んでおり、散策スポットとしては申し分ないです。また個人的には、地元の人からは勿論、ツーリングついでにといった県外のリピーターも多い麺家さくらのうどんがイチオシです!! 西部方面に向かわれる際は、是非お立ち寄り下さい!! (済生会日田病院 医療相談員 井口 桜子)



■ 事務局

大分県臼杵市大字戸室長谷 1131 番地 1  
 (臼杵市医師会コスモス病院 地域医療福祉連携室内)  
 TEL 0972-62-5883  
 FAX 0972-62-8404  
 URL <http://oita-msw.com/>  
 Mail [oita-msw@oita-msw.com](mailto:oita-msw@oita-msw.com)